

# ■ 2021年度 入試問題分析シート ■

東北大学

前期日程 文系

科目	数学
----	----

総括

試験時間	100分	難易度(昨年比)	難化	昨年並	易化
満点(配点)	200~300点	分量(昨年比)	増加	昨年並	減少

〈総論〉

①, ③が比較的簡単のため、試験時間 100 分ならば②, ④についてしっかり考えて、数えたり、計算することができれば、割合に高得点できる出題であった。

〈特記事項・トピックス〉

数列・ベクトルの分野からの出題がなかった。

〈合格への学習対策〉

各分野の基本事項、定理・公式を応用していけるよう、充分に問題練習を積んでおくこと。また、対応するグラフや図を適宜描いていくことや、計算力をつけておくことも大切である。

## 設問ごとの分析

問題番号	出題形式	範囲	分野・テーマ	特徴(内容分析・解答上のポイント)	問題レベル
①	記述	II	図形と方程式	曲線の方程式の係数が満たす条件と領域の図示。	標準
②	記述	A	場合の数	正八角形の頂点を結んでできる三角形や四角形の個数。	標準
③	記述	I	図形と計量	余弦定理と2つの円の内部の共通部分の面積。	易
④	記述	II	微分と積分	2次関数のグラフと3次関数のグラフの共通接線の方程式と、それらによって囲まれる部分の面積。	やや難

「問題レベル」は、本大学・学部を志望している受験生の入試レベルを基準に、問題の難易度を5段階【難・やや難・標準・やや易・易】で判断しています。昨年対比ではありませんので、総括の難易度(昨年比)とは連動しません。